

地域の資源を活かし、育み、「水」「土」「里」の未来を拓く

# 秋田の山

あきたのとちかいりょう

# 土地改良



VOL. 522  
2022  
11.25 [Fri]

イメージキャラクター  
みどりちゃん



「霧の中のほによ」 撮影者/太田 弓子

表紙の写真は、第22回「あきたの美しく豊かな農村づくり」写真コンクールにおいて秋田県湯上市飯田川で撮影された優秀賞受賞作品です。

水土里ネット秋田では、今年度も**12月23日まで**作品を募集しております。表紙写真の他にも県内には魅力溢れる撮影スポットが沢山ありますので皆さまからの沢山のご応募お待ちしております。

【お問合せ先】

水土里ネット秋田 総務企画部 政策・広報班  
TEL.018-888-2742

## 目次

## CONTENTS

令和4年度秋田県土地改良事業推進大会	2	女性事務局長に聞く！土地改良区リレーインタビュー	9
第145回秋田県種苗交換会協賛事業「農業農村整備フェア」	4	(男鹿市土地改良区 事務局長 和田 弘子)	
農業農村整備の集い	5	令和4年秋の叙勲	10
全国水土里ネット女性の会研修会	5	「会計指導員が行う土地改良区の指導監査」について	10
進藤金日子参議院議員が豪雨災害被災現場を調査	6	「随想」(秋田県雄物川筋土地改良区 小田嶋 弥生)	11
8月豪雨災害への本会の取り組み	7	連合会日誌	11
本会佐藤専務理事が令和4年度農村振興技術連盟大賞を受賞	7	水土里レポーターによる写真投稿(秋田市旭川筋土地改良区 会計主任 齊藤 翔平)	12
「土地改良団体における男女共同参画推進研修会」を開催	8	リレー感想文、編集後記	12

令和4年度

# 秋田県土地改良事業推進大会

各種事業の支援充実を国に要請（大会決議を採択）



▲挨拶をする高貝会長

11月2日(水)、大仙市「大曲市民会館・大ホール」において第145回秋田県種苗交換会の協賛行事として、本会主催による「令和4年度秋田県土地改良事業推進大会」が会員及び関係者など約900名のご出席を頂き開催された。また、スマート農業に対応できる基盤整備や防災・減災対策の強化に向けた支援の充実を国に求める決議を採択した。

大会では、高貝会長が「**連合会は、土地改良事業の技術的支援団体として常に技術力向上に努め、調査・設計、換地業務等において、それぞれの地域の要望にきめ細かに対応していく。基盤整備を通じて本県農業・農村の持続的発展を実現するため、皆さまには特段のご尽力をお願いしたい**」と挨拶した。

次に、土地改良功勞表彰、土地改良事業功績者表彰と21世紀土地改良区創造運動表彰が行われ、3団体10個人が表彰された。続いて大仙市協賛会会長の老松博行大仙市長から歓迎のことばをいただいたあと、ご来賓の皆様を代表して秋田県知事(代読：舛谷雅広農林水産部次長)、坂本修東北農政局長(代読：清野哲生農政局次長)、宮崎雅夫参議院議員、斉藤一志秋田県種苗交換会会頭からご祝辞を頂戴した。

議事に入ると、大仙市大曲土地改良区判田勝補理事長が議長として進行を務め、秋田県農林水産部の大山泰農地整備課長による「秋田県農業農村整備事業の現状報告」に続いて、秋田県西仙北土地改良区佐藤靖彦事務局長が大会決議を読み上げ、満場一致で採択し、大会は閉会した。



▲老松大仙市長



▲舩谷農林水産部次長



▲清野農政局次長



▲宮崎参議院議員



▲斉藤秋田県種苗交換会会頭



▲判田議長



▲大山農地整備課長



▲佐藤事務局長

表彰された団体・個人は次のとおり。

### 》 秋田県土地改良功労表彰

#### 【知事表彰】

- < 団体 > かつの土地改良区(理事長 田口 信一)  
大潟土地改良区 (理事長 今野 諭)
- < 個人 > 後藤 健敏(秋田県西仙北土地改良区理事長)  
成田 敏之(北秋田市土地改良区事務局長)  
三浦 英樹(三種町浜口土地改良区事業係長)  
三浦 完(仙北市黒倉堰土地改良区事務局長(兼)会計主任)

### 》 秋田県土地改良事業功績者表彰

#### 【会長表彰】

- 佐藤 三七(北秋田市土地改良区監事)
- 須田 誠(戸村土地改良区理事長)
- 高橋 豊昭(鳥海町笹子土地改良区理事長)
- 佐藤 京子(由利本荘市矢島町土地改良区職員)
- 清水川 清(秋田県田沢疏水土地改良区理事)
- 和賀 重(秋田県南旭川水系土地改良区理事)

### 》 秋田県21世紀土地改良区創造運動表彰

#### 【県知事賞】

- 潟上市天王土地改良区(水土里ネット天王)  
理事長 鈴木 美喜雄



## 大会決議

- 一 令和5年度当初予算において、地域の強い要望に十分応えられる規模の農業農村整備予算を確保すること
- 一 高収益作物の営農定着と効率的な生産体制を確立するため、水田の大区画化や畑地化・汎用化及び農地中間管理機構による担い手への農地集積・集約化を一層促進すること  
併せて、スマート農業に対応した基盤整備事業への支援を充実すること
- 一 農村地域の防災・減災力の強化を図るため、防災重点農業用ため池等の農業水利施設の適切な保全管理と、豪雨・耐震化対策などの機能強化を計画的に実施するための支援を一層充実すること  
併せて、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」については、引き続き十分な予算を確保すること
- 一 土地改良区の適正な運営と円滑な土地改良事業の推進のため、新たな財務会計制度の定着とその活用、統合整備や男女共同参画の促進など、組織運営体制の強化に向けた支援を一層充実するとともに、電気料金や生産資材価格等の高騰に対応するための支援を講ずること

令和4年11月2日

秋田県土地改良事業推進大会

第145回

# 秋田県種苗交換会

## 協賛事業「農業農村整備フェア」

**期間・場所** ○期間 10月29日(土)～11月4日(金) ○場所/大曲武道館

**集計** ○アンケート協力者…1,791件 ○来場者数…約4,850名(引継日誌より概算)

今年度も種苗交換会メイン会場である大曲武道館への出展となり、県内外から農業関係者の方々にご来場いただき、賑わいをみせた。

今年度の種苗交換会は、万全なコロナ対策を行った上で、3年間休止していた機械化ショーを開催するなどコロナ前を思わせるような活気に満ちた7日間となった。

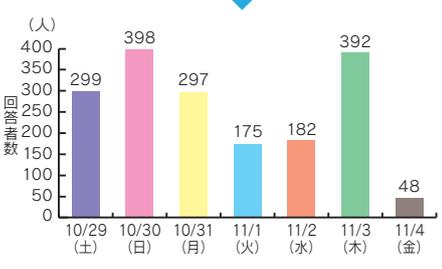
今年度の農業農村整備フェアでは、例年好評をいただいていたポップコーン配布・カレンダー作成を復活させ、感染対策を徹底した上でアンケート調査を行った。多くの方々にアンケートにご協力いただき、回答者への粗品としてポップコーンの他、水土里ネット秋田オリジナルティッシュの配布を行った。また、昨年同様、国・県・水土里ネット秋田のパネル、模型展示、写真コンクール入賞作品の紹介、農業農村整備関係の映像上映も行った。

さらに、今年は秋田県土地改良事業団体職員会仙北支部にもご協力いただき、仙北管内各改良区の施設をカードにした配布物や、古農具を展示したところ「懐かしい」という声が多く上がり、大変好評であった。

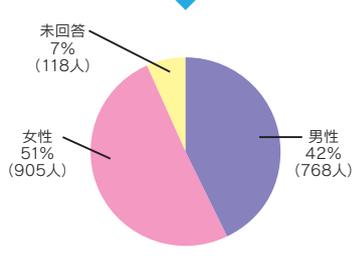
今年度はコロナ前同様、多くの方々に秋田県の農業農村整備事業について理解を深めていただくとともに、今後も関係団体と協力して秋田県の農業農村整備事業を県内外に広くPRしていきたい。

### 【アンケート調査結果】

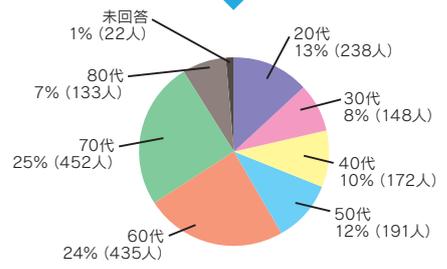
#### アンケート回答数



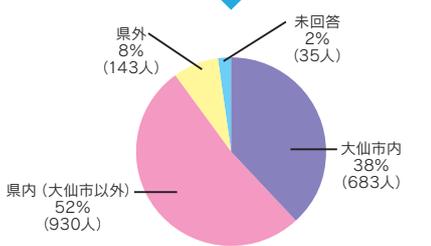
#### 性別



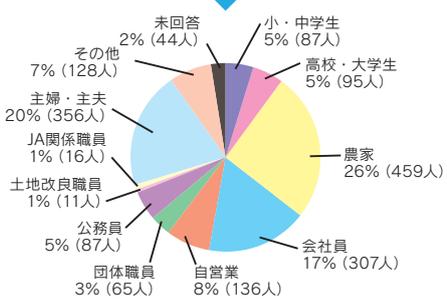
#### 年齢



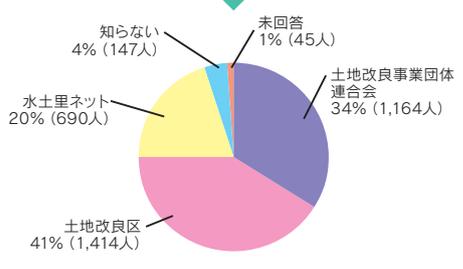
#### 住まい



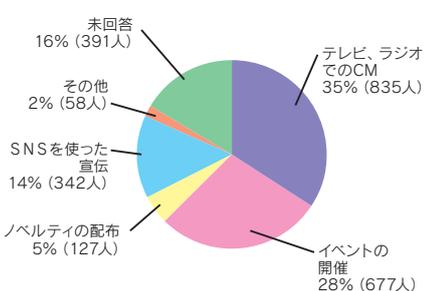
#### 職業



#### 【問1】 次の言葉を聞いたことがありますか？(複数選択可)



**【問2】** 問1で「水土里ネットを知っている」とお答えの方へお伺いします。水土里ネットの役割をもっと知ってもらうためには、どのような手段が有効だと思いますか。(複数選択可)



**【問3】** 面白かった展示、ためになった展示は何ですか？(3つまで選択可)

